



# TAKIKAWA ROTARY CLUB

本日は 第2638回 例会

プログラム

地区大会を総括する

No. 2493 11月5日(木)

次週以降の予定

11月12日(木) G S E 経験者卓話

11月19日(木) 人生は上り坂(講師卓話)

11月26日(木) ガバナー公式訪問

## 第2637回 例会報告

2009年 10月29日(木)

### 会長挨拶・報告



先週24日、スポンサークラブであります旭川RCの創立75周年記念式典に竹田幹事と共に出席して参りました。旭川RCは札幌・小樽に次いで道内3番目の歴史を誇るクラブですが、約200名の出席者の中でスマートに式典をされていました。今年、ピアノの障害者世界コンクールで優勝された方のコンサート、旭川東高生による合唱及び記念事業もグランドピアノの寄贈等、音楽の街を意識した75周年式典でありました。その中で我々の地区大会にご出席いただいた山本ガバナーはじめ、数名の方に御礼を申し上げましたが、皆様に「立派な大会でした。」とお褒め頂きました。地区大会が終わってまだ25日です。何故か数ヶ月たったような気持ちですが、決算もまだしっかりと出ていませんのでまだ仕事は終わっていないというのが実情です。勿論、大会誌の作成もこれからの事ですのでまだまだ続きます。まだ仕事の残っている部会及び会計の皆さんよろしくお願いたします。収支は今の所、計画通りで若干の余剰金が出る予定です。

さて、本年度の社会奉仕委員会の事業の中でそらぶちキッズキャンプに倉庫兼用ログハウスの贈呈がございまして、地区大会のプレス広告にも出ておりましたのでご存知の方もおられると思いますが、本日その贈呈式を行います。後程、鷲尾委員長から報告があると思います。もし午後から時間のある方はご出席をお願い申し上げます。

11月5日、スターライトホテルにおいて例会ではありませんが宿泊懇親会を行います。現在参加予定者は50名、内宿泊は約20名となっておりますが若干の余裕がありますので是非、多くの方の出席をお願いいたします。

### 幹事報告



1. 芦別・赤平RCより11月のプログラムと会報が届いております。

2. 12月6日に滝川文化センターにて開催されます、赤い羽根歌謡大会の入場整理券販売の依頼がまいりました。1枚1000円となっております。皆様のご協力をお願いいたします。

3. 来週11月4日(水)第11回定例理事会を開催いたします。既にFAXでお知らせしております通り、一日繰り上げておりますのでお間違のないようご出席をお願いいたします。1月に担当例会をお持ちの委員長さんは、活動計画の提出。また各委員長さんは「下期活動計画書」の提出をお願いいたします。

4. 本日丸加山にて、そらぶちキッズキャンプの贈呈式を2時30分より行います。役員・理事の皆さんは出席をよろしくお願いたします。

### 先週のプログラム

《選考委員会担当例会》

講師卓話



中垣 陽一委員長 挨拶

皆さんこんにちは。本日講話をいただく米田弘明師をご紹介させていただきます。米田師は昭和13年1月3日栗山町でお生まれになり、高野山で修行後幼児教育関係のお仕事をされていましたが、四国八十八ヶ所第2番札所「奥の院慈眼寺」の住職様との「不思議なご縁」があり明治29年浦臼町鶴沼に開かれた北海道八十八ヶ所11番札所「樺戸山金剛寺」の第四代目の住職を、昭和50年よりされています。また高野山真言宗前管長・金剛峯寺前座主の資延敏雄様と大変親交のある方で北海道八十八ヶ所の開設、また平成18年旭川市・19年札幌市で行われました「空海マンダラ・弘法大師と高野山」展の企画委員長をされています。本日は「職業と宗教について」の講話をお願いいたしました。ロータリーソングの「我らの生業」「奉仕の理想」の「業」は仏教では「ゴウ」と言い、また「経済」「経営」という言葉におきましてもお経の「経」が入っています。この様に、私達の職業には必ずや何らかの宗教的な教えが関係すると考え「私達の生業の中に宗教的精神がいかに生かされるべきか、生かすべきか」につきまして、ご啓示いただければ幸であります。

《職業と宗教について》



講師 樺戸山金剛寺住職 米田弘明師

こんにちは。皆様方の貴重な時間にお話しすることを大変恐縮しております。皆様方の社会に対してのすばらしい奉仕の精神は、あらゆるところに生きており、それを実際に私達も見せていただいている素晴らしいと敬意を表している次第です。先日、中垣委員長さんよりご要望があり困ったなと思っておりましたが、しかし重要なことだと思いつけることになりました。普段私達坊さんは声を出すときにはあまり食事をしないのですが、これからのお話において声が出るか心配です。まず「業」「教」「経」について申し上げたいと思います。そのためには私が今、こうしてあるというのは四国の徳島・土佐・伊予・讃岐の四県にあります弘法大師様がひらかれた霊場、八十八ヶ所の札所をお参りして歩く、これを「遍路」といいますが、一般の方、また我々坊さんもお参りしております。私は一番最初にその札所を歩いて回った経験があります。それは若干25歳の時です。その時の経験が今の私を生かしているわけで、そこで札所の事について一寸お話ししたいと思います。

(1) 4つの道場について

1つ目は阿波の国の道場。これは徳島にあり発心

(ほっしん)道場といいます。発心とは心をおこすと書きます。心をお参りしよう、或は何かをしようとして心に起すもの、これを発心といいます。また何か事業をする時に皆さん方もそうだと思うのですが、まず「よし。じゃーこれからこの仕事をやりましょう。」と立上がる時におこる心が発心なんです。同じ様に私達もお遍路する時に「お遍路するぞ。」という発心をおこす、それが徳島の道場です。

2つ目は土佐の道場。これは修業の道場といえます。修業の道場というのは、土佐というのとはずうっと海岸沿いを歩き札所と札所の間の距離があるため、これが大変な修行なのです。ムギというところに行くのとトビ石・ハネ石・ゴロゴロ石という土地があり、そこを歩くには波が押し寄せてきますので波が引いていって通る間に通り過ぎなければならないのです。今は山沿いに道路が出て来て良くなっています。また、土佐の最先端に足摺岬がありますが行けども行けども入り江を出たり入ったりして行くものですから「あー、今度あの入り江に入ったら札所があるんでないか」と一生懸命になって歩く、そうしたらまた無い。この繰返しが続きます。中村から足摺岬まで約60キロありますので大変です。天気の良い時は気持ちは良いですが仲々そう行きません。そういう修行の場所です。これが心も身もここでとことん修行させられるのです。

3つ目が伊予の道場で、これは菩提の道場です。菩提というのは仏さんになるということですが、その仏さんの悟りをひらくべく修行をしてきた檀家の中で悟りをひらく場所です。

4つ目が讃岐の国で、(ネハン)の道場です。菩提の道場で仏さんになったその心が、この道場でしっかりと保っていけるかどうかが目적입니다。この道場で大変なこともあります。ここで本当の人間性が培われるのです。そういった様に4つの道場を札所ごとにお参りして色々なお祈りをしていくのがお遍路なのです。お遍路には色々な「お接待」とは、これを使ってくださいとハンカチをくれるとか、これを食べてくださいとおにぎりをくれるとか、あるいは今日は私の家に泊まって行って下さい。と宿を提供してくれるのです。接待はどんな接待でも受けなさいというのです。だから毒頭を出されても食べなければならぬのです。何故食べなければならぬのか、食べたらどうなるのか！まず接待する側の人の気持を掴むことが出来るかどうかが大変なのです。また接待された人の心、これが大事なのです。受ける時にしっかりと謂ゆる私は仏さんなのだという気持で受けるなら、毒頭もあえて食べなければならぬのです。そんな馬鹿なと思うでしょうが、でもそれが事実なのです。この接待が何百年の歴史において非常に行き届いています。そこで起こる、お遍路していく人と接待する人の心と心の交流によってお互いが非常に温くなる、有り難くもなる、そういうものが生まれてくるということが重要視されています。

私が初めてお遍路した時は、仏様は私に対して何のお接待も与えてくれませんでした。物も食べないで何日も歩いたため、心も身もボロボロになってきました。そうしたら、何でこんな事をして来たのか自分がお遍路するといって来たのにかかわらず、それが何かしら他人にさせられている様な気持になっているため歩くことが苦しく、また腹が減る事が苦しく、お経を上げることも苦しいわけです。苦しい苦しいの連続で、何処まで行っても、その苦しみから逃れることが出来ないのです。そうした時、ふと思ったのです。昔から言われている事に「楽あれば苦あり」という言葉があり「俺が今苦しいという事はこういう事なんだろうか」「俺は

今まで楽しんできたから、こんな目に遭わなければならないのだろうか」「あー、そうか、やっぱりそう何だよな」そういう風に思った途端に何と無しに涙がボロボロと出て来たんです。それは所謂、自分が好き好んで此に来たにもかかわらず親を欺いて来ているのです。寺に帰るのが嫌で、坊さんの姿が嫌だから逃げていたんです。そんなもんですから許してくれる場所がお遍路に行くと言ったら「お前も信仰心が芽生えてきたか」と言って許してくれたので、親をして四国のお遍路に行ったのです。だから最初の苦しさが自分の中にある、色々な事が涙と伴に全部抜けたのです。その時に初めて申し訳無いという言葉が出てきたのです。それは両親に対して偽りを言った事がどれだけ罪が重い事かと悔したものです。その時に不思議とすぐ隣におばあさんが寄ってきて「若いのに腹減っているんだらう」と言って家に連れて行ってくれ、ご飯とたくわんを出してくれ、この御飯がこの世の御飯でない、こんな美味しい御飯を食べた事は生まれて初めてでした。そういう事があって私はお遍路に来たのは間違いでなかったと悟ったのです。

(2) 4句の

- ① 本来無東西 ② 何処有南北 ③ 迷故三界城
- ④ 悟故十方空

(3) 3つの煩惱(三業)の浄化

- ① 食欲 ② ③ 痴

※(2)(3)については紙面の関係で記載省略いたします。

(4)最後に祈りについて

私が金剛寺に入って、本当に大事なものはお経を上げなければならない。これは弘法大師様に諭されたのを分らないでいたのです。何と情けない事だと毎朝、拝む事にしてあります。それで、お経というのは「筋」を通すと言う意味でございます。所謂、真理なのです。私はこれには職業を通してそれを経営するに当たっても、務めをするにしても、これは皆同じで別は無いと思います。お経を上げる事によって筋が通る、所謂真理を仰ぐことが出来ると言う事だと思えます。その中には真理を求めてお経を上げながら自分の身に付いている色々な生まれ出する以前から一杯背負って来ている「業」があります。その「業」が奇麗に掃除されて、三つの「業」で無く三つの「真理」を身に受けるのだと言う気持が重要だと思いました

## ニコニコBOX

神部 洋史会員

地区大会無事終。色々感想を寄せられています。滝川クラブの歓迎の心がこもっていた事に感謝されております。ありがとうございました。

深澤 和範会員

結婚記念日にお祝いを頂いて。家族に嬉しい事があって。

中垣 陽一会員

担当例会を終えて。

米田 弘明様

卓話をさせていただきます。

会長/川口 義弘  
幹事/竹田 行宏  
編集/クラブ会報委員会

電子メール info@rotary.gr.jp  
ホームページ http://www.rotary.gr.jp/

例会日●毎週木曜日 PM 0:30  
例会場●ホテルスエヒロ  
事務局●ホテルスエヒロ 7F

〒073-0032 滝川市明神町 2 丁目 2-16  
TEL (0125) 22-3344  
FAX (0125) 24-2755



クラブ会報は再生紙を使用しています。